

23年の気候変動対策取組み進捗状況

HDサクア

サステナビリティ戦略評価指標に基づき報告

貢献。

▽持続可能な未来に向けた取り組みについて考え、行動するアクサグループのグローバルイベント「アクサ・ウィーク・フォー・グッド (AXA Week for Good)」を11月から毎年実施。24年は6月3日～7日に「水」をテーマに開催し、全国2859人の従業員がチャリティウォークや清掃活動等のボランティア活動に参加。海洋保全に取り組み(一社)と協働の森づくりパートナーズ協定を締結(23年7月)。約12ヘクタールの森林を「アクサの森」と名付け、協定を通じた資金拠出により、間伐などによる森林保護活動をサポートしCO2吸収に

ペーンを実施。主要拠点のオフィスビルで再生可能エネルギーへの切り替えを推進。東京の白金本社は、テナントとして照明のLED化を完了。切り替え可能な再生エネルギーを100%達成。

▽主要拠点のオフィスビルで再生可能エネルギーへの切り替えを推進。東京の白金本社は、テナントとして照明のLED化を完了。切り替え可能な再生エネルギーを100%達成。

▽「アクサ気候アカデミー」の従業員の受講率100%を達成(23年12月)。

▽気候変動に対する従業員の理解を促す取り組み。従業員の96%に気候変動に関するトレーニングを実施(23年時点)。

▽移行資金として年間4-2026」は次のとおり。長期目標「AXA for Progress Index-2026」は次のとおり。

▽26年までにアクサグループ従業員が気候変動に関する知識・能力のさらなる向上を図る。

道」を掲げる北海道や、

「環境首都SAPPORO」を掲げて脱炭素や再生可能エネルギーへの移行を進める札幌市と連携し、札幌市中島公園エリアで高い環境機能性を備えた複合ビル「ライラックスクエア」へのグリーン投資を実施。25年6月に竣工予定。

▽「アクサユネスコ協会減災教育プログラム」による気候変動と減災に対する理解を促す社会啓発を14年より継続。

▽高知県および高知市と協働の森づくりパートナーズ協定を締結(23年7月)。約12ヘクタールの森林を「アクサの森」と名付け、協定を通じた資金拠出により、間伐などによる森林保護活動をサポートしCO2吸収に

▽従業員が自発的に気候変動アクションを推進するボランティアイベント「アクサ・ウィーク・フォー・グッド」の受講率100%を達成(23年12月)。

▽気候変動に対する従業員の理解を促す取り組み。従業員の96%に気候変動に関するトレーニングを実施(23年時点)。

▽移行資金として年間4-2026」は次のとおり。長期目標「AXA for Progress Index-2026」は次のとおり。

▽26年までにアクサグループ従業員が気候変動に関する知識・能力のさらなる向上を図る。

▽26年までに9000件以上の気候変動ソリューションおよびサービス(「i」研修/教育/ii)リスク評価/意識向上/iii)ギャップ分析

▽26年までに9000件以上の気候変動ソリューションおよびサービス(「i」研修/教育/ii)リスク評価/意識向上/iii)ギャップ分析

▽26年までに9000件以上の気候変動ソリューションおよびサービス(「i」研修/教育/ii)リスク評価/意識向上/iii)ギャップ分析

▽26年までに9000件以上の気候変動ソリューションおよびサービス(「i」研修/教育/ii)リスク評価/意識向上/iii)ギャップ分析

▽26年までに9000件以上の気候変動ソリューションおよびサービス(「i」研修/教育/ii)リスク評価/意識向上/iii)ギャップ分析

▽26年までに9000件以上の気候変動ソリューションおよびサービス(「i」研修/教育/ii)リスク評価/意識向上/iii)ギャップ分析

▽26年までに9000件以上の気候変動ソリューションおよびサービス(「i」研修/教育/ii)リスク評価/意識向上/iii)ギャップ分析

▽26年までに9000件以上の気候変動ソリューションおよびサービス(「i」研修/教育/ii)リスク評価/意識向上/iii)ギャップ分析

▽26年までに9000件以上の気候変動ソリューションおよびサービス(「i」研修/教育/ii)リスク評価/意識向上/iii)ギャップ分析

▽26年までに9000件以上の気候変動ソリューションおよびサービス(「i」研修/教育/ii)リスク評価/意識向上/iii)ギャップ分析

▽26年までに9000件以上の気候変動ソリューションおよびサービス(「i」研修/教育/ii)リスク評価/意識向上/iii)ギャップ分析

にある人々への保障)の提供1200万人の目標値に対し、1400万人の顧客へ提供(23年時点)。

③模範となる企業として

④責任ある企業として

⑤外部の評価指標

⑥タウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス(DJSI)スコア81/100。

⑦脆弱な立場

⑧移行引受をサポートし、24年から26年の損害保険料収入累計を60億ユーロに引き上げる。

⑨26年までに9000件以上の気候変動ソリューションおよびサービス(「i」研修/教育/ii)リスク評価/意識向上/iii)ギャップ分析

⑩26年までに9000件以上の気候変動ソリューションおよびサービス(「i」研修/教育/ii)リスク評価/意識向上/iii)ギャップ分析

⑪26年までに9000件以上の気候変動ソリューションおよびサービス(「i」研修/教育/ii)リスク評価/意識向上/iii)ギャップ分析

⑫26年までに9000件以上の気候変動ソリューションおよびサービス(「i」研修/教育/ii)リスク評価/意識向上/iii)ギャップ分析

⑬26年までに9000件以上の気候変動ソリューションおよびサービス(「i」研修/教育/ii)リスク評価/意識向上/iii)ギャップ分析

⑭26年までに9000件以上の気候変動ソリューションおよびサービス(「i」研修/教育/ii)リスク評価/意識向上/iii)ギャップ分析

⑮26年までに9000件以上の気候変動ソリューションおよびサービス(「i」研修/教育/ii)リスク評価/意識向上/iii)ギャップ分析

⑯26年までに9000件以上の気候変動ソリューションおよびサービス(「i」研修/教育/ii)リスク評価/意識向上/iii)ギャップ分析

⑰26年までに9000件以上の気候変動ソリューションおよびサービス(「i」研修/教育/ii)リスク評価/意識向上/iii)ギャップ分析

⑱26年までに9000件以上の気候変動ソリューションおよびサービス(「i」研修/教育/ii)リスク評価/意識向上/iii)ギャップ分析

⑲26年までに9000件以上の気候変動ソリューションおよびサービス(「i」研修/教育/ii)リスク評価/意識向上/iii)ギャップ分析

⑳26年までに9000件以上の気候変動ソリューションおよびサービス(「i」研修/教育/ii)リスク評価/意識向上/iii)ギャップ分析

㉑26年までに9000件以上の気候変動ソリューションおよびサービス(「i」研修/教育/ii)リスク評価/意識向上/iii)ギャップ分析

㉒26年までに9000件以上の気候変動ソリューションおよびサービス(「i」研修/教育/ii)リスク評価/意識向上/iii)ギャップ分析

㉓26年までに9000件以上の気候変動ソリューションおよびサービス(「i」研修/教育/ii)リスク評価/意識向上/iii)ギャップ分析

㉔26年までに9000件以上の気候変動ソリューションおよびサービス(「i」研修/教育/ii)リスク評価/意識向上/iii)ギャップ分析

㉕26年までに9000件以上の気候変動ソリューションおよびサービス(「i」研修/教育/ii)リスク評価/意識向上/iii)ギャップ分析

㉖26年までに9000件以上の気候変動ソリューションおよびサービス(「i」研修/教育/ii)リスク評価/意識向上/iii)ギャップ分析

㉗26年までに9000件以上の気候変動ソリューションおよびサービス(「i」研修/教育/ii)リスク評価/意識向上/iii)ギャップ分析

㉘26年までに9000件以上の気候変動ソリューションおよびサービス(「i」研修/教育/ii)リスク評価/意識向上/iii)ギャップ分析